

マルチコントロール オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の取付説明書と接続説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の取付説明書と接続説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



WX-C60MD



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の取付説明書と接続説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたると、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および取付説明書と接続説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告・⚠注意	4
はじめに	6
まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
各部のなまえ	8
CD/MD・ラジオの聞きかた	10
ロータリーコマンドーの操作	12

CD・MD

CD/MDを聞く	14
聞きたい曲を探す （イントロ再生）.....	16
繰り返し聞く（リピート再生）.....	17
曲順を変えて聞く （シャッフル再生）.....	18
CDに名前をつける（ディスクメモ/ カスタムファイル）.....	19
CDの聞きたい曲だけを聞く （バンク/カスタムファイル）.....	21
ディスクを名前で探す（リスト）....	23

ラジオ

放送局を自動で登録する	24
特定の放送局を登録する	27
放送局に名前をつける （ステーションメモ）.....	28
放送局を名前で探す（リスト）.....	29

テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る	30
放送局やディスクの情報を見る （リスト）.....	32
別売りのビデオを見る	33
映像を見ながらディスクを聞く （サイマルプレイ）.....	34
ロータリーコマンドーでサイマルプレ イをする（サイマルプレイ）.....	35

サウンドの設定

イコライザーを使う（EQ）.....	36
CD/MDごとに音響効果を登録する （ディスクサウンドメモリー）.....	38
サブウーファーの出力を設定する ..	39
スペクトラムアナライザーを選ぶ （SA）.....	41
音のバランスや音質を設定する （バランス/フェーダー） （ソースサウンドメモリー）.....	42

その他の操作

音や表示などの設定を変える （SET UP）.....	43
--------------------------------	----

使用上のご注意	45
ワイヤレスリモートコマンドーRM-X47 （別売り）.....	48
故障かな?	49
CD/MDのエラー表示	51
保証書とアフターサービス	52
主な仕様	52
索引	54



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

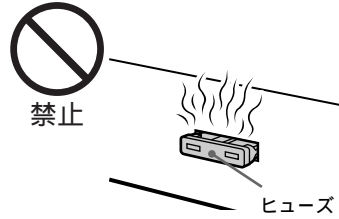
取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
取付説明書と接続説明書の説明に従って、
正しく取り付けてください。正しい取り付
けをしないと、火災や感電の原因となりま
す。

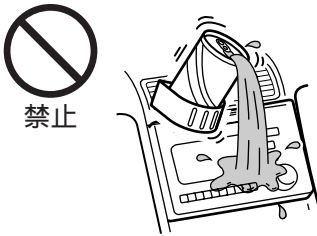


規定容量のヒューズを使う

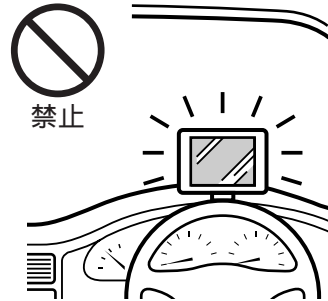
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のものを
お使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



内部に水や異物を落とさない
水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



前方の視界を妨げる場所に、ディス
プレイやモニターを取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの
原因となります。また、取り付ける場所
が、助手席用エアバッグシステムの動作の
妨げにならないことを確認してください。



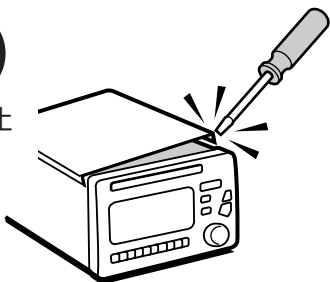
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店または
ソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



走行中はフロントパネルを開けない

車両によってはフロントパネルが開いて
いると運転操作の妨げになる場合があり
ます。この場合は、MDの取り出しや交
換は必ず車を止めて行って下さい。
また、フロントパネルを開けてから走行
してください。



禁止



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**
を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となる
ことがあります。



禁止

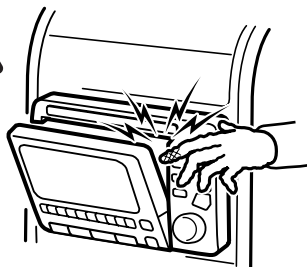


フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となること
があります。



指挟み



はじめに

- 本機1台でCD / MD、ラジオの3メディアに対応。
- 臨場感あふれる車内音場を作り出すEQ(イコライザー)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダーを付属。

また、以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- テレビ、ビデオ
- FM文字多重放送ディスプレイユニット

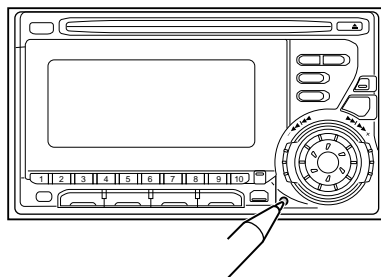
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

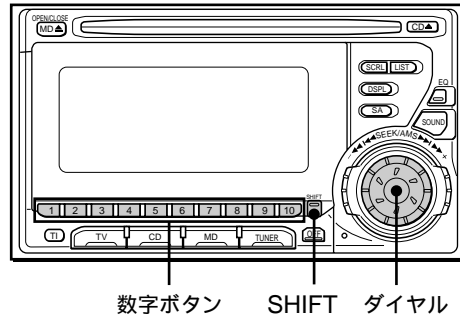
ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDおよびMDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。
- ACCポジションのある車でお使いの時(本機のパワーセレクトスイッチが④の位置の時)にリセットボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。この場合は、各ソースボタンを押して、本機の電源を入れてください。デモンストレーション表示は解除され、次にリセットするまで表示しなくなります。



時計を合わせる

本機は12時間表示です。



時計

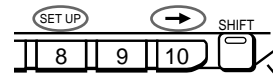
ご注意

本機側面のパワーセレクトスイッチを●にしている場合は、電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、TUNERボタンを押してラジオをつけます。

1 車のイグニッションキーをONにする。

2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示させる。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。



3 数字ボタン8 (SET UP) を押す。

Set up Mode
Clock

① 数字ボタン10 (→) を押す。

Set up Mode
10:00

② ダイヤルを回して「時」を合わせる。

Set up Mode
10:00

③ 数字ボタン10 (→) を押す。

Set up Mode
10:00

④ ダイヤルを回して「分」を合わせる。

Set up Mode
10:08

4 SHIFTボタンを押す。

時計がスタートします。

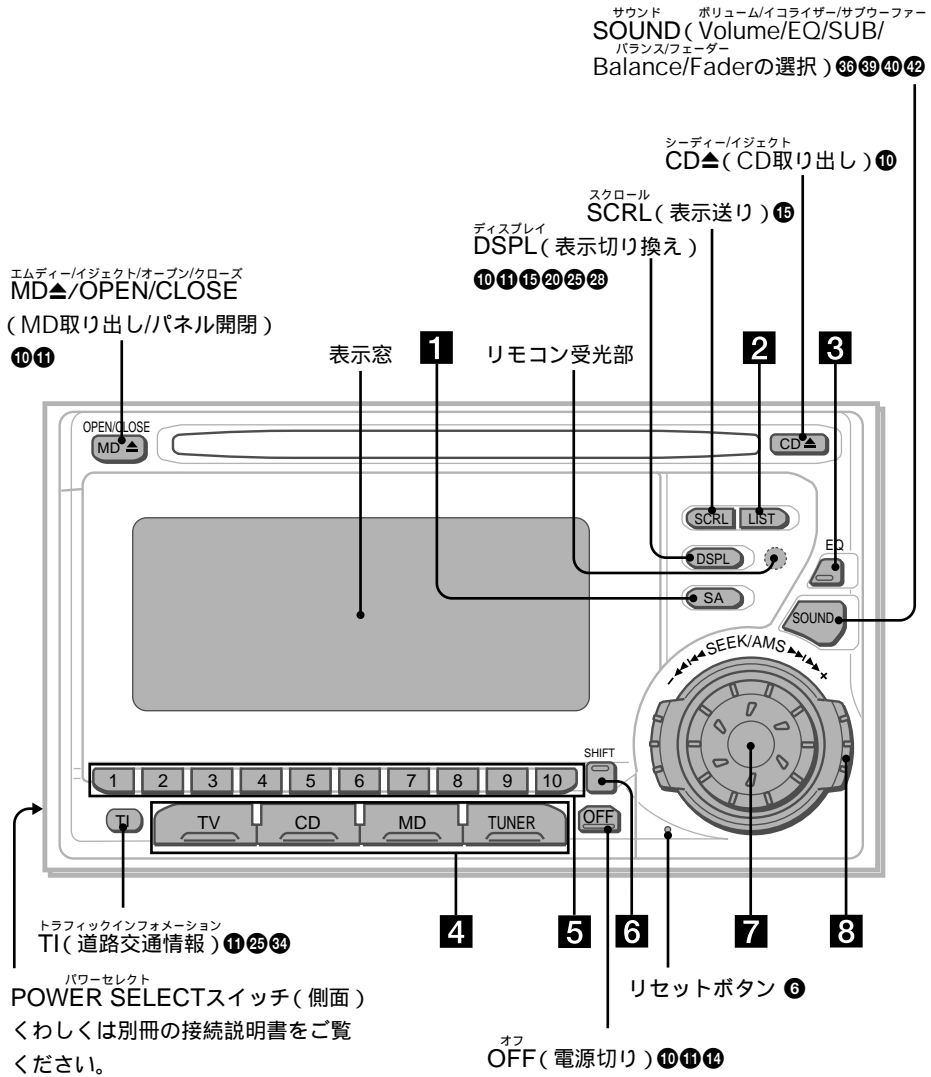
5 最後に、SHIFTボタンを押す。

時計

7

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



- 1** スペクトラムアナライザー
SA(表示/パターン切り換え/スペクトラムアナライザー振り幅切り換え) 41

2 リスト
LIST

ラジオ	放送局に名前をつける 23/ 一覧を見る 29 32
<small>エムディー</small> MD	一覧を見る 23 32
<small>シーディー</small> CD	ディスクに名前をつける 19 20/一覧を見る 23 32
テレビ	放送局に名前をつける 31/ 放送局の一覧を見る 32

- 3** イコライザー
EQ(イコライザー切り換え/登録) 36 37

4 ファンクションボタン

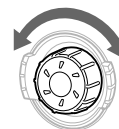
<small>チューナー</small> TUNER	FM/AM切り換え 11 24 27
<small>エムディー</small> MD	MD再生、MDチェン ジャー選択 10 14 34
<small>シーディー</small> CD	CD再生、CDチェンジャー 選択 10 14 20 34
<small>テレビ</small> TV	TV/Video切り換え 30 33 34

5 数字(1~10)ボタン

ラジオ	放送局の登録/選択 11 24 27
CD/MD	チェンジャー内のディスク の選択 15
テレビ	チャンネルの登録/選択 31

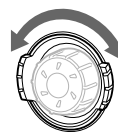
- 6** シフト
SHIFT
プレイモード
PLAY MODE 14 15 21 22 24 25 26 30 31 38
セットアップ
SET UP 7 44
シャッフル
SHUF 18
リピート
REP 17

- 7** ボリューム/イコライザー/サブウーファー/バランス/フェーダー
Volume/EQ/SUB/Balance/Fader(音量調節)ダイヤル 7 10 11 19 20 23 36 37 39 40 42



音量調節	小さく	大きく
イコライザー カーブの選択	前へ	次へ
サブウーファー の出力設定	小さく	大きく
バランス	左へ	右へ
フェーダー	後ろへ	前へ

- 8** シーク/エーエムエス
SEEK/AMS(頭出し/ラジオ選局)
10 11 15 21 25 27



ラジオ	周波数の低い 放送局へ (回し続ける)	周波数の高い 放送局へ (回し続ける)
CD/MD	前の曲へ 早戻し (回し続ける)	次の曲へ 早送り (回し続ける)

CD/MD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

CDを入れる

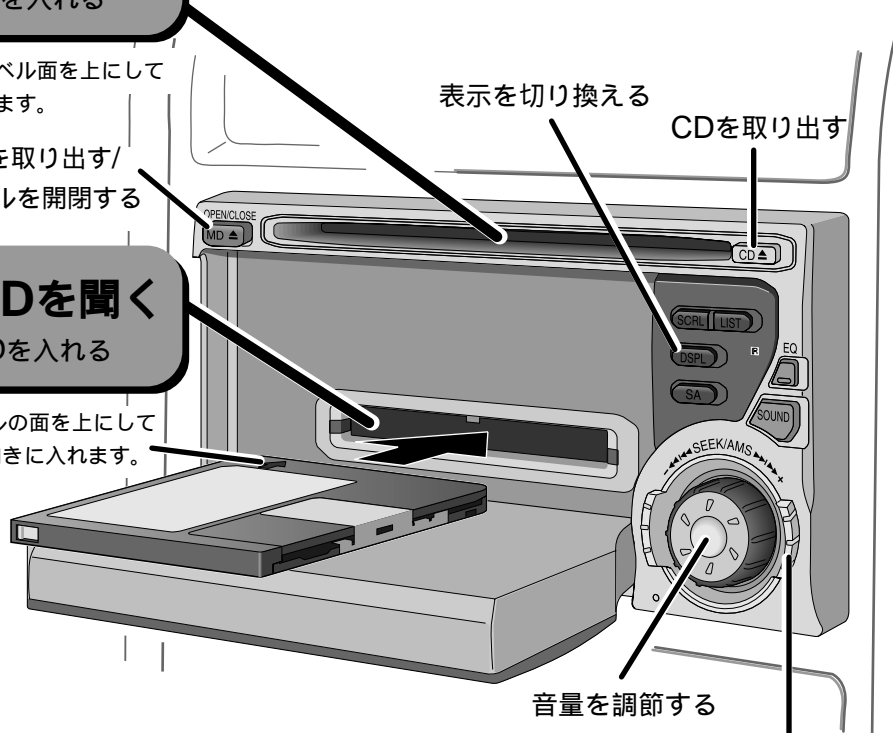
レーベル面を上にして
入れます。

MDを取り出す/
パネルを開閉する

MDを聞く

MDを入れる

ラベルの面を上にして
凸の向きに入れます。



ディスクが入っていると点灯します。

: MDのとき : CDのとき

止める / 電源を切るには
 ボタンを押します。

ディスクが入っているときは

または ボタンを押すと再生が始まります。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。
8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると誤動作することがありますので使用しないでください。

CD/MDを聞きながら探す(サーチ)

再生中にSEEK/AMSダイヤルを回し続ける。

: 先に進める

: 前に戻す

指を離すと、そこから再生されます。

CD/MDの曲の頭出し

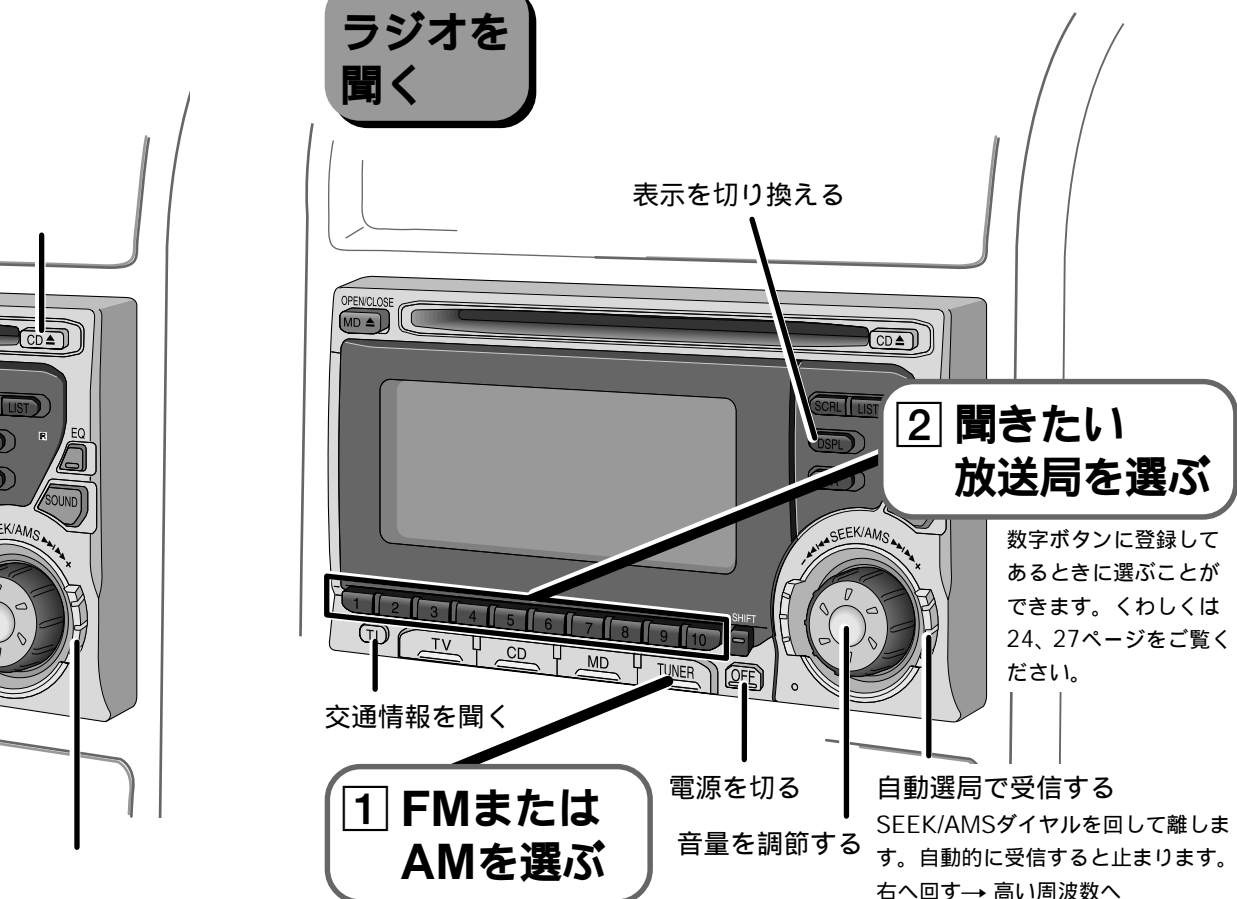
再生中にSEEK/AMSダイヤルを回して離す。

: 次の曲へ進む

: 曲の頭や前の曲へ戻す

戻したい曲の数だけ回します。

ラジオを 聞く



1 FMまたはAMを選ぶ

2 聞きたい放送局を選ぶ

フロントパネルは開けてから15秒後、自動的に閉まります。

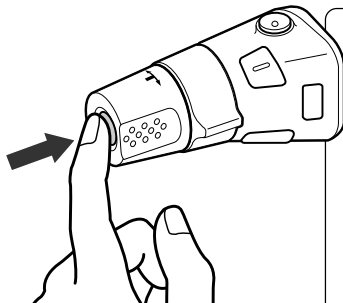
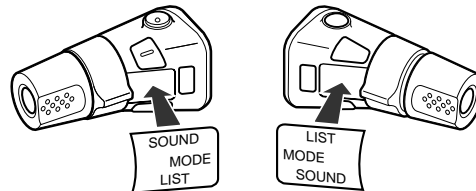
ご注意

- 開いた状態のフロントパネルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。
- MDが挿入口に半分差し込まれているときは、フロントパネルは閉まりません。この場合は、MDを取り出すか、完全に挿入してからMD▲/OPEN/CLOSEボタンを押してください。

ロータリーコマンドーの操作

ロータリーコマンドーのシールについて

ボタン名称のシールが2枚付属されています。ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

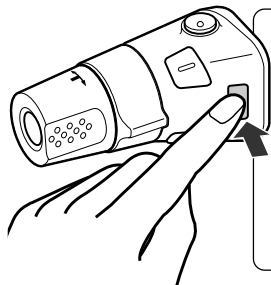


SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースがTUNER CD MD TV*と切り換わります。

テレビ、ビデオを接続してお使いの場合は、2秒以上押すとサイマルセレクトモードになります。サイマルプレイについては、35ページをご覧ください。

* TVチューナーユニット接続時のみ表示します。



MODEボタンを押すと

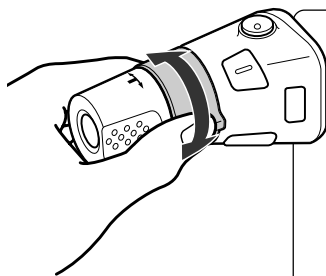
ラジオの時：FM AM ……

CDの時：CD1 CD2 ……

MDの時：MD1 MD2 ……

テレビ/ビデオの時：TV AUX ……

と切り換わる



SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ… 自動的に放送局を受信する

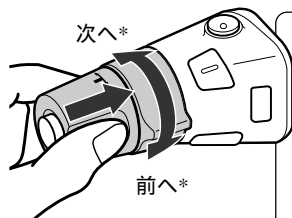
回し続けると特定の周波数に合わせられる

CD/MD… 曲の頭出しをする

回し続けると早く送られ、離すと再生に戻る

テレビ… 自動的に放送局を受信する

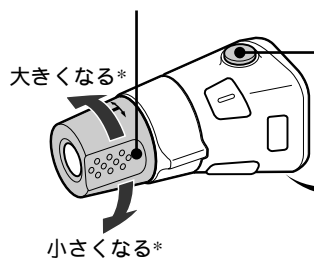
回し続けると特定のチャンネルに合わせられる



PRESET/DISCつまみを押しながら回すと
 ラジオ... 登録した放送局を順に受信する
 CD/MD... ディスクを切り換える
 テレビ... 登録したチャンネルを切り換える

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

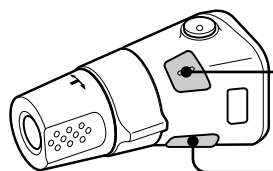
音量を調節する (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)
 解除するにはもう一度押すか、本体のダイヤルを回します。

電源を切る (OFFボタンを押す)

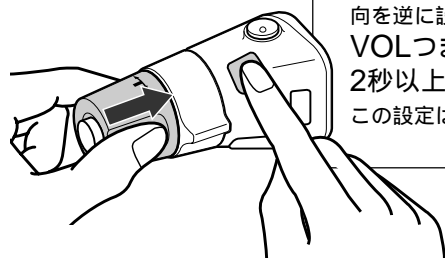
* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。



音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す)
 本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

リストを表示する (LISTボタンを押す)
 本体のLISTボタンと同じ働きをします。

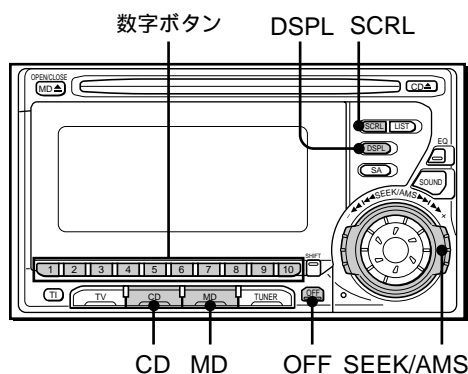
つまみの操作方向を切り換える



運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。
 VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す
 この設定は、本体でもできます (43ページ)。

CD/MDを聞く

本機または別売りのCD/MDチェンジャーを使って、CDやMDを再生できます。



聞きたい機器を選ぶ

再生中にCDボタンまたはMDボタンを繰り返し押し、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのCD/MDチェンジャー）に切り換える。

CDの場合

CD1（本機）→ CD2（CDチェンジャー1）→
CD3（CDチェンジャー2）

MDの場合

MD1（本機）→ MD2（MDチェンジャー1）→
MD3（MDチェンジャー2）

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

音声を切り換える

音声多重ディスク（ビデオCDやCD-Gなどの一部）では、左右のチャンネルに別々の音声録音されています。このようなディスクでは左右どちらか片方のチャンネルの音を選んで、左右両方のスピーカーで聞くことができます（この場合音声はモノラルになります）。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。
- 2 数字ボタン9（PLAY MODE）を繰り返し押し、
「Stereo」にする。
- 3 数字ボタン10（→）を押して「L mono」または
「R mono」を選ぶ。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ちょっと一言

別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キットRC-130を本機に接続すると、音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして再生できます。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビモニターかナビシステムに接続してください。

ご注意

- 本機ではCD TEXTに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、何文字かが表示されないことがあります。
- 漢字、ひらがな入力されたMDを再生した場合は、「NO Name」と表示されます。
- カタカナ表示に対応していないIMD機器では、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示されます。また、表示されたローマ字の前後に「^」記号が付加されます。
例：BESTヒット → BEST^HituTO^
- 別売りのFM文字多重放送ディスプレイユニットFMX-77およびTVチューナーユニットXT-40Vはカタカナ表示に対応していません。したがって、ディスク名/曲名がカタカナで記録されたMDを再生すると、FMX-77のディスプレイおよびXT-40Vのモニターでは正しく表示されません。

ちょっと一言

- モーションディスプレイはDSPLボタンを押すごとに
ホースランニング →
ピアノプレイ →
ファイヤーワークスの表示に切り換わります。
- モーションディスプレイのときはSAボタンは働きません。
- 9文字以上の名前が見られるのは、CD TEXTおよびMDに記録されている場合です。

いろいろな聞きかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
聞きたいディスクを選 ぶ(ダイレクト選曲)	聞きたいディスクの番号と同じ数字 ボタンを押す。
聞きながら探す (サーチ)	再生中にSEEK/AMSダイヤルを回し続ける。 ▶▶▶▶▶:先に進める ◀◀◀◀◀:前に戻す 指を離すとそこから再生されます。
曲の頭出し	再生中にSEEK/AMSダイヤルを回して離す。 ▶▶▶▶▶:次の曲へ進む ◀◀◀◀◀:曲の頭や前の曲へ戻す 戻したい曲の数だけ回します。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。

CDの再生の場合

DISC CD	SONYPOPS 8 1:15	↓	ディスク/アーティストの名前*1*2 曲番号と再生経過時間
TRACK CD	CARELESS 8 1:15	↓	曲の名前*1 (CD TEXTとMDのみ) 曲番号と再生経過時間
CD	10:08 8 1:15	↓	時計 曲番号と再生経過時間

モーションディスプレイ

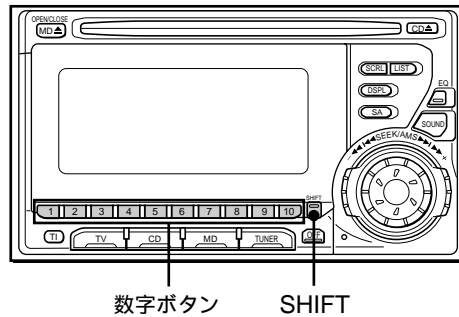
- *1 名前がついていないときは「NO Name」と一時表示され、ディスク名がついているときはディスク名を表示し、曲名がついているときは曲名を表示します。
また、ディスク名および曲名がついていないときはブランク表示になります。
- *2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときはディスクメモの名前を表示します。CD TEXTに記録されているディスク名/アーティスト名を見たいときは、SHIFTボタンを押してから数字ボタン10(→)を押して、最後にSHIFTボタンを押します。

9文字以上の名前を見るには
SCRLボタンを押します。

聞きたい曲を 探す

(イントロ再生)

ディスクの全曲を最初の10秒ずつ再生して、
聞きたい曲を探すことができます。



- 1 再生中にSHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。
- 2 数字ボタン9 (PLAY MODE) を繰り返し押し、Introの表示にする。
- 3 数字ボタン10 (→) を押して「Intro on」に切り換える。
イントロ演奏が始まります。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ちょっと一言

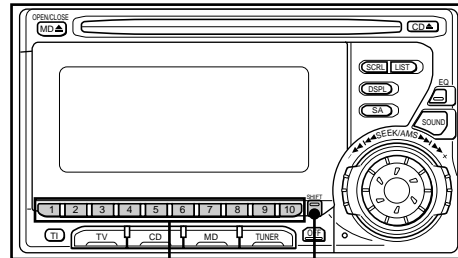
SEEK/AMSダイヤルを回すとイントロ再生は解除されます。

イントロ再生をやめるには
手順3で「Intro off」を選びます。

繰り返し聞く

(リピート再生)

1曲のみまたはディスク全曲を繰り返し聞くことができます。



数字ボタン SHIFT

C
D
・
M
D

ちょっと一言

数字ボタン4 (REP) を押すごとに
Repeat 1 → Repeat 2*
→ Repeat off
と切り換わります。

* 本機のCD/MDを再生中は表示されません。

1 再生中にSHIFTボタンを押して「REP」を表示させる。

2 数字ボタン4 (REP) を押してRepeatの表示にする。

3 数字ボタン4 (REP) を繰り返し押し、聞きたい設定に切り換える。

1曲のみ繰り返す 「Repeat 1」にする。
ディスク全曲を繰り返す (別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合) 「Repeat 2」にする。
リピート演奏が始まります。

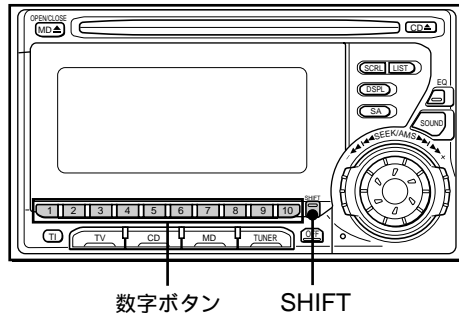
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

リピート再生をやめるには
手順3で「Repeat off」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



ご注意

「Shuf All」では、すべての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

ちょっと一言

数字ボタン5 (SHUF) を押すごとに
Shuf 1 → Shuf All →
Shuf off
と切り換わります。

1 再生中にSHIFTボタンを押して「SHUF」を表示させる。

2 数字ボタン5 (SHUF) を押してShufの表示にする。

3 数字ボタン5 (SHUF) を繰り返し押して、聞きたい設定に切り換える。

本機のみの場合

再生中のディスクの全曲を順不同に再生するには

.....「Shuf 1」にする。

別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合

本機とチェンジャー内のディスクをまたがって順不同に

再生するには

- 本機のCDとCDチェンジャー
- 本機のMDとMDチェンジャー

.....「Shuf All」にする。

シャッフル演奏が始まります。

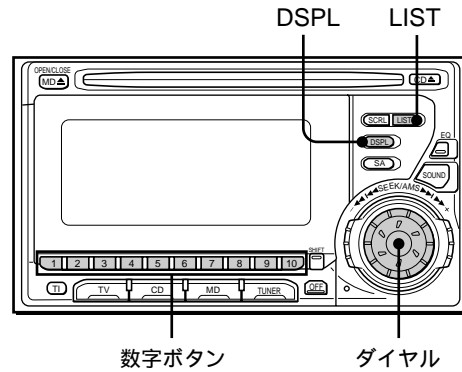
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

シャッフル再生をやめるには
手順3で「Shuf off」を選びます。

CDに名前をつける

(ディスクメモ/カスタムファイル)

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前は本機に記録され、CD110枚分の名前を保存できます。



C
D
・
M
D

ちょっと一言

- ダイヤルを右に回すと
A → B → C → ... Z →
0 → 1 → 2 → ... 9 → +
→ - → * → / → \ →
→ . → _
と変わります。
- ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。
- 文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、数字ボタン7(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

名前をつける

- 名前をつけたいCDの再生中に、表示が点滅するまでLISTボタンを2秒以上押す。

CD 8 1.15

- 文字を入力する。

- ① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

CD S 8 1.15

- ② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。

CD S 8 1.15

- ③ 手順①と②を繰り返して名前を入力する。

- 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

次のページへつづく

CDに名前をつける(つづき)

ちょっと一言

「名前をつける」(19ページ)の手順2で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

名前を表示するには

再生中にDSPLボタンを押します。

DSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。(表示項目については、15ページをご覧ください。)

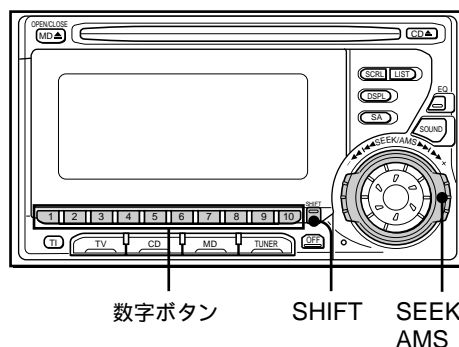
名前を消去するには

- 1 CDボタンを押してCDを選びます。
- 2 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- 3 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 4 ダイヤルを回して、消したい名前を表示します。
- 5 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。
さらに他の名前を消すときは、手順4と5を繰り返します。
- 6 LISTボタンを2秒以上押します。

CDの聞きたい曲だけを聞く

(バンク / カスタムファイル)

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(19ページ)で名前をつけたCDだけです。



ご注意

- 「Skip」の設定は1枚のCDで24曲目までできます。
- 「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

とばす曲を指定する

1 名前をつけたCDを再生中に、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。

2 数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押す。



3 SEEK/AMSダイヤルを回してとばしたい曲の番号を表示させて、数字ボタン6(ENTER)を押す。

表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。

「Play」に戻すときは、もう1度数字ボタン6を押します。

4 同様にして、とばす曲全部に「Skip」を設定する。

5 数字ボタン9(PLAY MODE)を2秒以上押す。

6 最後に、SHIFTボタンを押す。

次のページへつづく

CDの聞きたい曲だけを聞く(つづき)

ちょっと一言

数字ボタン9(PLAY MODE)を押すごとに Bank on → Bank inv → Bank off と切り換わります。

曲をとばしながら聞く

- 1 CDを再生中に、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。
 - 2 数字ボタン9(PLAY MODE)を繰り返し押し、Bankの表示にする。

CD	SCHUBERT
Bank	off
 - 3 数字ボタン10(→)を繰り返し押し、再生のしかたを選ぶ。

「Play」(再生する)を設定した曲だけ再生する
.....「Bank on」にする。

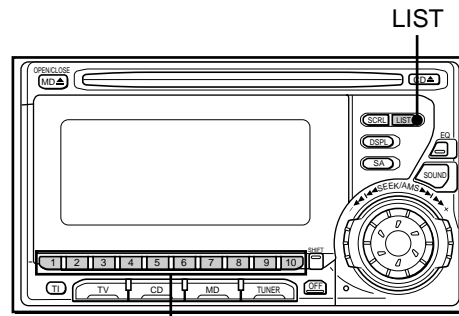
「Skip」(とばす)を設定した曲だけ再生する
.....「Bank inv」にする。
 - 4 最後に、SHIFTボタンを押す。
-

バンク再生をやめるには
手順3で「Bank off」を選びます。

ディスクを名前 で探す

(リスト)

別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合に、名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。CDについてはディスクメモ機能(19ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



数字ボタン

C
D
・
M
D

ご注意

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
- 「*****」: 名前が入っていない。
- 「?」: ディスクの情報を読み取っていない。
- 別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作はできません。くわしくは「CD/MDの情報を見る」(32ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

ボタンを押さないまま5秒が過ぎると、通常の表示に戻ります。

- 1 LISTボタンを短く押して名前を表示させる。



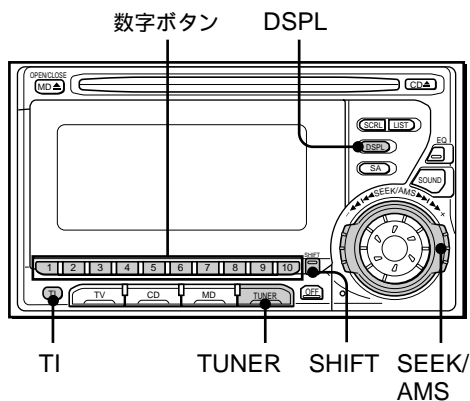
再生中のディスクを含む2枚分の名前を表示します。

- 2 LISTボタンを繰り返し押して、聞きたいディスクの名前に▶を合わせる。

- 3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FM(TV1～3チャンネル)またはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

ちょっと一言

放送局の名前の登録のしかたについて詳しくは、28ページをご覧ください。

ご注意

数字ボタンの上に「SET UP」や「PLAY MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

1 TUNERボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すたびにFM↔AMと切り換わります。

2 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。

3 数字ボタン9(PLAY MODE)を繰り返し押して「BTM」にする。

4 数字ボタン10(→)を押す。

「B.T.M.」(ベストチューニングメモリー)表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

5 最後に、SHIFTボタンを押す。

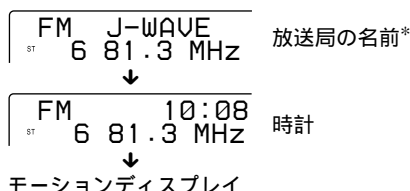
登録した放送局を聞くには

1 TUNERボタンを押して、「FM」または「AM」にする。

2 聞きたい放送局の数字ボタン(1～10)を押す。

表示窓の見かた

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



ちょっと一言

- モーションディスプレイはDSPLボタンを押すごとにホースランニング → ピアノプレイ → ファイヤーワークスの表示に切り換わります。
- モーションディスプレイのときはSAボタンは働きません。

* 名前を登録していない場合は、「NO Name」と一時表示され、ブランク表示になります。

旅先などで、登録した放送局が受信できないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSダイヤルを回して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSダイヤルを回し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。
 - 数字ボタン9(PLAY MODE)を繰り返し押し、Localの表示にする。
 - 数字ボタン10(→)を押して「Local on」にする。
 - 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには
手順3で「Local off」を選びます。

道路交通情報を聞くには (トラフィックインフォメーション)

TIボタンを押します。

もとのソースに戻すには
もう一度TIボタンを押します。

SEEK/AMSダイヤルを回すと、周波数(1620kHz/1629kHz)を切り換えることができます。

ちょっと一言

道路交通情報(AM 1620kHzまたは1629kHz)の放送地域内で聞くことができます。

ご注意

アクセサリ(ACC)ポジションのない場合は、TUNERボタンを押してラジオをつけてからTIボタンを押してください。

放送局を自動で登録する(つづき)

ちょっと一言

聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンを回し続けます。

ちょっと一言

数字ボタン(10) (→) を押しごとに
IF Auto → Wide →
Narrow
と切り換わります。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。
- 2 数字ボタン9 (PLAY MODE) を繰り返し押して、Monoの表示にする。
- 3 数字ボタン10 (→) を押して「Mono on」にする。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Mono off」を選びます。

FM放送局が混信するときは

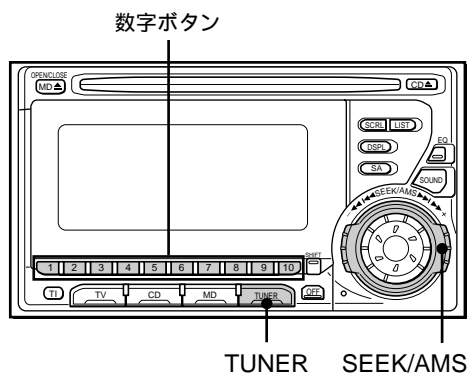
受信している周波数の近くにほかの放送局があり、混信するときに設定します。通常は「IF Auto」にしておくと自動で切り換わります。

設定の種類	設定内容
IF Auto	自動的に「Narrow」と「Wide」を切り換えます。
Wide	音質を優先するとき。
Narrow	隣接局との混信を防ぐとき。

- 1 FM受信中にSHIFTボタンを押す。
- 2 数字ボタン9 (PLAY MODE) を繰り返し押して、「IF Auto」を表示させる。
- 3 数字ボタン10 (→) を押して設定を変える。
- 4 最後にSHIFTボタンを押す。

特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(24ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

ちょっと一言

数字ボタンの上に「SET UP」や「PLAY MODE」などの表示が出ているときは、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

1 TUNERボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

2 SEEK/AMSダイヤルを回して登録する放送局を受信する。

FM 80.0 MHz

3 登録したい数字ボタンを「Memory」が表示されるまで押す。

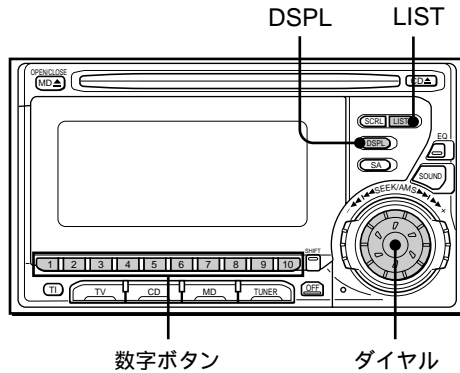
FM Memory
5 80.0 MHz

押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



ちょっと一言

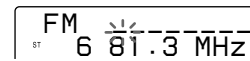
- ダイヤルを右に回すと
A → B → C → ... Z → 0
→ 1 → 2 → ... 9 → + →
- → * → / → \ →
→ → → _
と変わります。
- ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。
- 文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。
- 間違えたときは、数字ボタン7(←)を押して正しい文字を点滅させて、正しい文字を入力します。

ちょっと一言

「放送局に名前をつける」の手順3で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

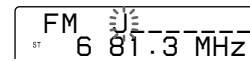
1 名前をつけたい放送局を受信する。

2 LISTボタンを2秒以上押す。

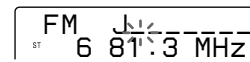


3 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。



② 文字が見つかったら、数字ボタン10(→)を押す。



次の文字を入力できるようになります。

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

4 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

名前を表示するには

DSPLボタンを押します。

くわしくは25ページをご覧ください。

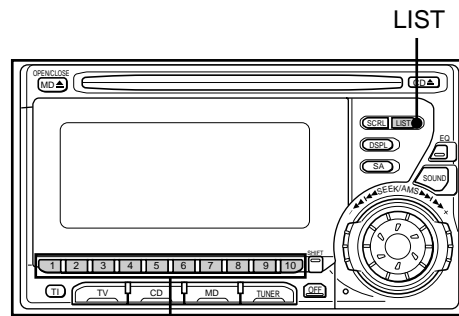
名前を消去するには

- LISTボタンを表示が点滅するまで押します。
- DSPLボタンを2秒以上押します。
- ダイヤルを回して、消したい名前を表示させます。
- 数字ボタン6(ENTER)を名前が消えるまで押します。
- LISTボタンを2秒以上押します。

放送局を名前で探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探することができます。放送局に名前をつけるときは28ページをご覧ください。



数字ボタン

ラジオ

1 LISTボタンを短く押す。

名前をつけていない場合は
周波数が表示されます。



2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前に▶を合わせる。

3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ちょっと一言

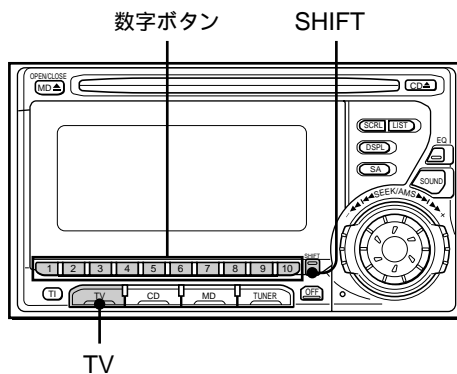
DSPLボタンを押したり、何もボタンを押さないまま5秒を過ぎると、もとの表示に戻ります。

ご注意

別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターにのみ表示され、この操作はできません。くわしくは「ラジオ局・テレビ局の一覧を見る」(32ページ)をご覧ください。

別売りの テレビを見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。



ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 最大10局まで登録できます。

* 表示はTVモニターの機種により異なります。

チャンネルを登録する

- 1 TVボタンを繰り返し押し、「TV」にする。
- 2 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示させる。
- 3 数字ボタン9(PLAY MODE)を繰り返し押し、「Auto mem」にする。
- 4 数字ボタン10(→)を押す。
チャンネル順に数字ボタン1~10に割り当てられます。
TVモニターには「選局中」*などと表示されます。
- 5 最後に、SHIFTボタンを押す。

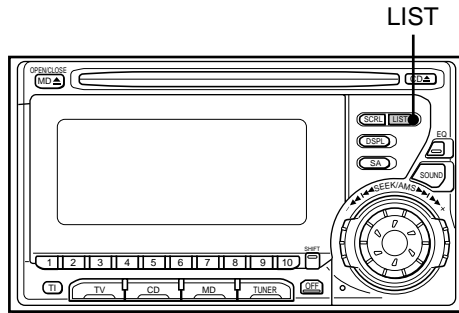
操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	数字ボタン1～10を押す。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(26ページ)の操作をする。
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none">1 SHIFTボタンを押す。2 数字ボタン9(PLAY MODE)を繰り返し押しして「MAIN」にする。3 数字ボタン10(→)を押しして「SUB」にする。(2カ国語放送受信時)4 最後に、SHIFTボタンを押す。
特定のチャンネルを登録するには	「特定の放送局を登録する」(27ページ)の操作をする(手順1では、TVボタンを押しして「TV」を選ぶ)。
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(28ページ)の操作をする(手順1では、「TV」を選ぶ)。

放送局やディスク の情報を見る

(リスト)

登録したテレビチャンネルやラジオ局、ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(19ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ちょっと一言

- 一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。
- モニター画面の表示は接続されるTVチューナーユニットにより異なります(右図はXTL-770Wの画面表示です)。

ご注意

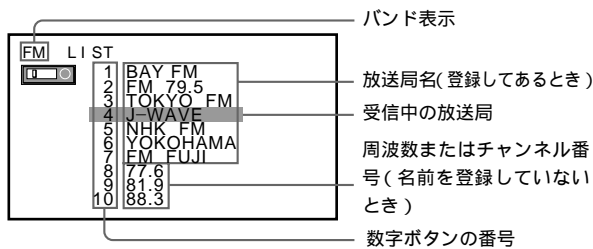
- TVチューナーユニットXT-40Vのときは
—MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
—名前はすべて大文字で表示されます。
- CD TEXTの内容は表示されません。

ちょっと一言

- LISTボタンを押すごとに DISC LIST → TRACK LIST* → 再生経過時間の表示に切り換わります。
* MDを再生している場合
- 一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

受信中にLISTボタンを短く押す。

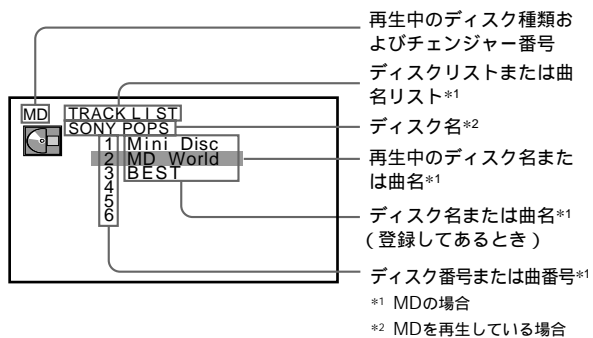


表示を消すには

もう1度LISTボタンを押します。

CD/MDの情報を見る

再生中にLISTボタンを短く押す。

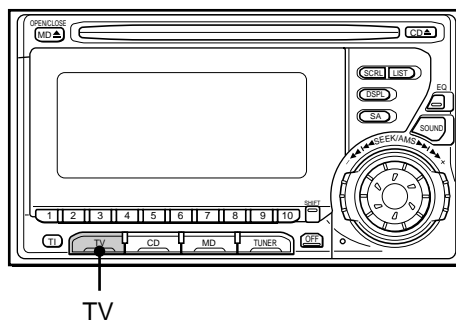


表示を消すには

もう1度LISTボタンを押します。

別売りのビデオ を見る

ビデオを見るには、別売りのビデオデッキおよびTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。
接続のときには、ビデオデッキとTVモニター
の取扱説明書をご覧ください。

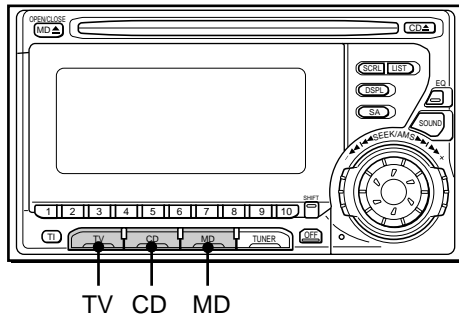


ちょっと一言

ビデオをTVモニターの
VIDEO2端子に接続してい
るときは、「AUX Video
2」表示に切り換えます。

- 1 TVボタンを繰り返し押し、「AUX Video 1」を
選ぶ。
- 2 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

映像を見ながら ディスクを聞く (サイマルプレイ)



ご注意

- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

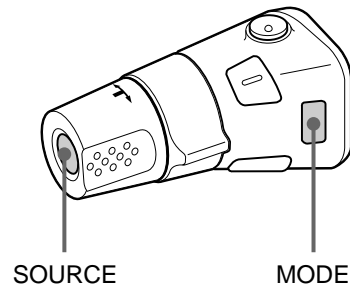
1 TVボタンを繰り返し押し、**「TV」**または**「AUX」** (ビデオ)にする。

2 CDボタンまたはMDボタンを2秒以上押す。
サイマルプレイが始まります。

サイマルプレイをやめるには
テレビまたはビデオを止めるには
CDボタンまたはMDボタンを2秒以上押します。
CDまたはMDを止めるには
TVボタンを2秒以上押します。
TUNERボタンを押すとサイマルプレイが解除されて、最後に聞いていたFMまたはAMの放送局に切り換わります。

ロータリーコマンド でサイマルプレイを する

(サイマルプレイ)



ちょっと一言

CD1 → CD2またはMD1
→ MD2などに切り換えたいときはMODEボタンを押します。

ちょっと一言

「Video」に切り換えたいときはMODEボタンを押します。

1 CDまたはMDを再生する。

2 SOURCEボタンを2秒以上押す。

3 本体の数字ボタン7(←)を押す。

Simul sel
CD ---

4 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」にする。

Simul sel
MD ---

5 本体の数字ボタン10(→)を押す。

Simul sel
MD ---

6 SOURCEボタンを押して「TV」にする。

Simul sel
MD TV

7 SOURCEボタンを2秒以上押す。

サイマルプレイが始まります。

サイマルプレイをやめるには

CDまたはMDを止めるには

手順3で「 - - - 」を選びます。

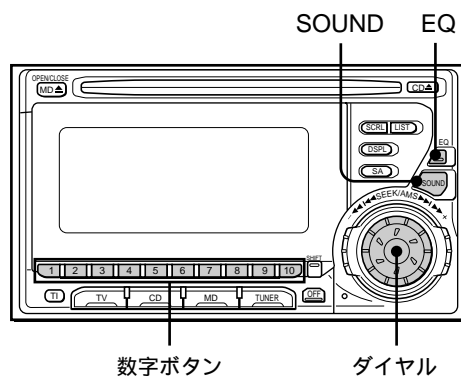
TVまたはビデオを止めるには

手順5で「 - - - 」を選びます。


サウンドの設定

イコライザーを使う (EQ)

本機には音楽のジャンルに合わせた6種類のイコライザーカーブが用意されています (Reggae、Classic、HipHop、Dance、Ballad、Jazz)。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを3種類登録できます (User 1、User 2、User 3)。



イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定したいソース (CD、MD、ラジオなど) を再生する。
- 2 SOUND ボタンを繰り返し押し、EQ にする。
 Reggae
- 3 ダイヤルを回してイコライザーカーブを選ぶ。
3秒後、通常モードに戻ります。

イコライザーを解除するには

EQ ボタンを押します。

イコライザーをかけるには、もう一度 EQ ボタンを押します。

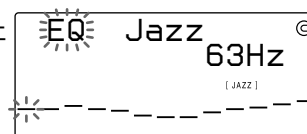
ちょっと一言

ダイヤルを回すと
Reggae → Classic →
HipHop → Dance →
Ballad → Jazz →
User 1 → User 2 →
User 3
と変わります。

好きなイコライザーカーブを登録する

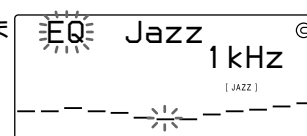
1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生し、もともになるイコライザーカーブを選ぶ。

2 EQボタンを2秒以上押す。



イコライザー調整モード

3 数字ボタン7(←)または10(→)を押して周波数を選ぶ。



イコライザー調整モード

4 ダイヤルを回してレベルを調節する。

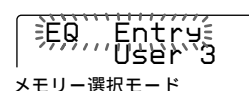
手順3と4を繰り返し、イコライザーカーブを調節する。

5 数字ボタン6(ENTER)を押す。



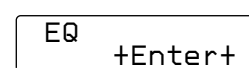
メモリー選択モード

6 ダイヤルを回して登録する番号(User 1、User 2、User 3)を選ぶ。



メモリー選択モード

7 数字ボタン6(ENTER)を押して登録する。



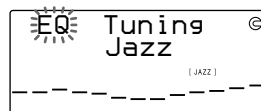
イコライザーカーブが登録され、イコライザー調整モードに戻ります。

8 最後に、EQボタンを2秒以上押す。

通常モードに戻ります。

ちょっと一言

- 数字ボタン10(→)を押すごとに
63Hz → 160Hz → 400Hz
→ 1kHz → 2.5kHz →
6.3kHz → 16kHz
と変わります。
- 63Hzのときに数字ボタン7(←)を押して、もともになるイコライザーカーブを変えることができます。数字ボタン7(←)を押した後に、ダイヤルを回してもともになるイコライザーカーブを選びます。

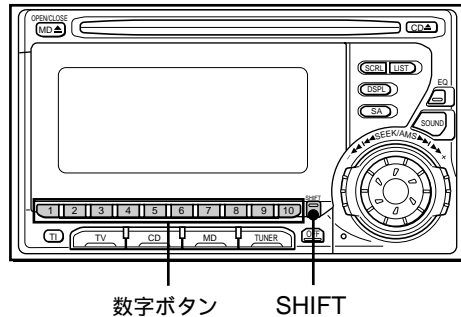


- 登録をやめるには、EQボタンを2秒以上押します。

CD/MDごとに音響効果を登録する

(ディスクサウンドメモリー)

本機では、ディスクごとにサウンドの設定を登録することができます(200枚まで)。



ご注意

ディスクサウンドメモリーは、最初にイコライザーカーブをUSER1~3のいずれかに登録してから設定してください。(37ページをご覧ください)

- 1 設定したいディスク(CD、MD)を再生する。
- 2 サブウーファーやイコライザーカーブを選ぶ。
操作のしかたについては、36ページをご覧ください。
- 3 SHIFTボタンを押す。
- 4 数字ボタン9(PLAY MODE)を繰り返し押し、
「DSM set」にする。
DSM set
ディスクサウンドメモリー
(DSM)登録モード
- 5 数字ボタン6(ENTER)を押す。
DSM
+Enter+

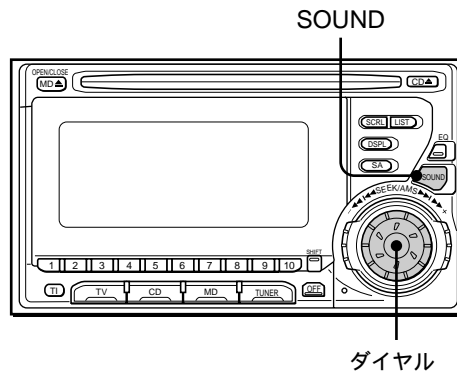
手順4のあと、5秒以内に操作してください。

- 6 最後に、SHIFTボタンを押す。

登録した音響効果を消すには
上記の手順5で、数字ボタン6(ENTER)を2秒押しします。

サブウーファアの出力を設定する

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファアの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。



- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し押して「SUB」にする。

SUB	0dB
サブウーファー出力レベル調整モード	
- 3 ダイアルを回して出力レベルを調整する。

SUB	+10dB
-----	-------

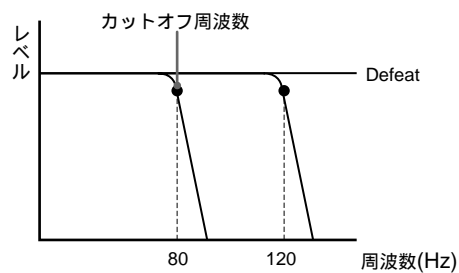
3秒後に通常のモードに戻ります。


サウンドの設定

サブウーファーの出力を設定する(つづき)

カットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分によって支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、80Hzを選ぶと、80Hz以上の音が除かれます。



- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。
- 2 SOUNDボタンを2秒以上押す。
- 3 SOUNDボタンを繰り返し押し続けて「SUB」にする。  カットオフ周波数調整モード
- 4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。
通常モードに戻ります。

ちょっと一言
ダイヤルを回すごとに
Defeat ↔ 80Hz ↔
120Hz
と変わります。

出力レベルを調整するには

上記の手順4のあと、

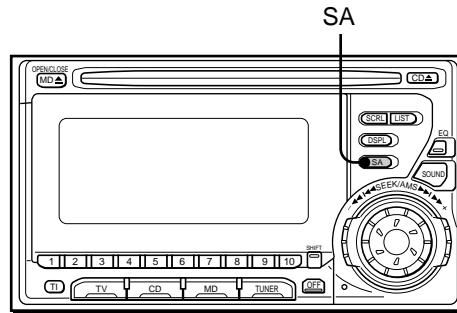
- 1 数字ボタン7(←)を押してサブウーファー出力レベル調整モードにする。
- 2 ダイヤルを回して出力レベルを調整する。
- 3 数字ボタン10(→)を押してカットオフ周波数調整モードに戻す。

その後、手順3から操作を行ってください。

スペクトラムアナライザーを選ぶ

(SA)

刻々と変化する音声信号レベルを13バンドのスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。また、表示パターンは10種類の中から選ぶことができます(音声信号に連動しない表示パターンを含む)。また、スペクトラムアナライザー表示のレベルは、3段階(high、middle、low)に切り換えることができます。



ご注意

モーションディスプレイ表示中は、SAボタンは動きません。

再生中にSAボタンを短く繰り返し押して、表示パターンを選びます。

設定の種類	表示内容
SA Mode 1	ピークホールド
SA Mode 2	ピークのみ
SA Mode 3	左右からの表示
SA Mode 4	上下逆転のピークホールド
SA Mode 5	ネガの表示
SA Mode 6	迷路のアニメーション
SA Mode 7	反射のアニメーション
SA Mode 8	雪のアニメーション
SA Mode 9	ハイウェイのアニメーション
SA Demo*	Mode 1～9の繰り返し

* すべての表示パターンを約10秒ずつ順不同に表示

スペクトラムアナライザーのレベルを調整する

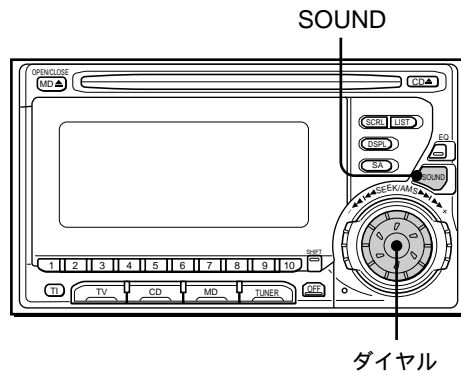
SAボタンを2秒以上押します。

ちょっと一言

SAボタンを2秒以上押すたびに
Sens high → Sens low
→ Sens middle
と切り換わります。

音のバランスや音質を設定する

(バランス/フェーダー)
(ソースサウンドメモリー)



出力バランスを調節する

前後と左右のスピーカー出力のバランスを別々に調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、**FM**の表示がなくなり、**Balance 0**の表示が現れる。または「Fader」にする。 FM
Balance 0
バランス調節モード

左右を調節する「Balance」にする。

前後を調節する「Fader」にする。

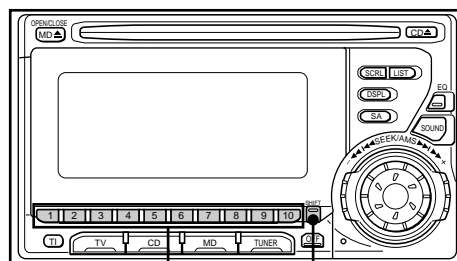
- 2 ダイヤルを回して出力バランスを調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(CD、MD、FM、AM、テレビ)ごとにイコライザーやサブウーファースの出力の設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

音や表示などの 設定を変える (SET UP)



数字ボタン SHIFT

設定の種類	設定内容
「Clock」	時計の設定(7ページ)。
「Color」	操作ボタンの照明色を変える。 「Amber」 → オレンジ色 「Green」 → 緑色
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する(車の照明電源に接続されている場合のみ)。 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
「RM」	ロータリーコマンドーのつまみの操作方向を切り換える。 「norm」 → 初期設定の回転方向。 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
「Loud」	小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
「A.Scl」	CD TEXTやMDを再生したとき、またはディスクや曲を切り換えたとき、9文字以上のディスク名*1または曲名*2を自動的にスクロールします。 *1 表示がディスク名表示のとき *2 表示が曲名表示のとき

その他の操作

次のページへつづく

音や表示などの設定を変える(つづき)

設定を変える

- 1** SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示させる。
 - 2** 数字ボタン8(SET UP)を繰り返し押して、調節したい項目に切り換える。
Clock → Color → Dimmer → Beep → RM → Loud*¹ → A.Scr1*¹*²
*1 OFF状態のときは表示されません。
*2 ラジオ受信中は表示されません。
 - 3** 数字ボタン10(→)を押して調節したい設定にする。
(例:「on」または「off」)
 - 4** 最後に、SHIFTボタンを押す。
-

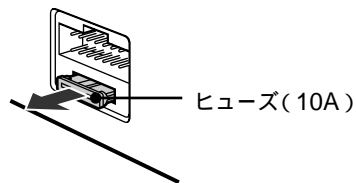
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいいます。

結露したままですとレーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CD/MDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

CDについて

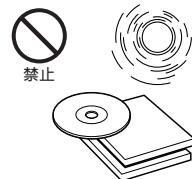
- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



記録面に触れないように持つ。

ディスクに紙などを貼らない。キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



- 再生する前に、再生面についてホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりのはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 本機ではCD(円形ディスク)のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

次のページへつづく

使用上のご注意(つづき)

MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために

車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように十分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあげるとこわれます。



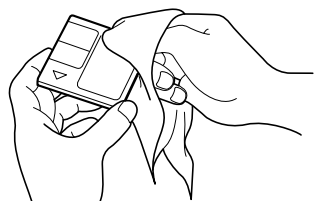
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季の直射日光下で、窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



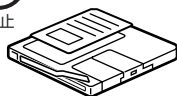
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所に貼ってください。



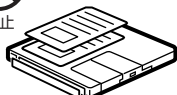
禁止



- 重ねて貼らないでください。



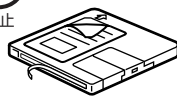
禁止



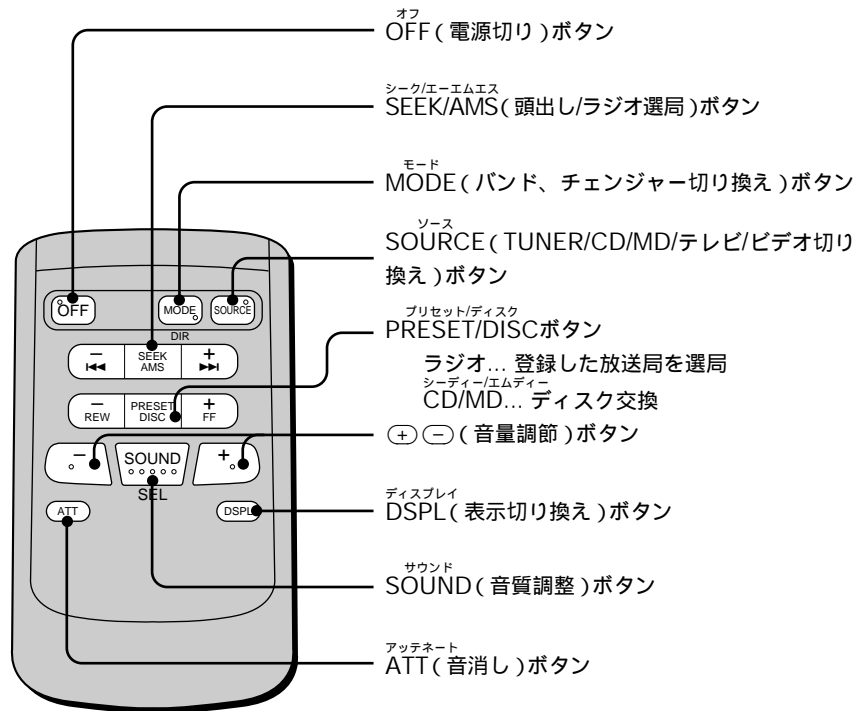
- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



禁止



ワイヤレスリモートコマンダー RM-X47 (別売り)



ご注意

本機側面のパワーセレクトスイッチを③にしている場合は、本機の電源が入っていないとワイヤレスリモートコマンダーで本機を操作することはできません。このときは1度本機のTUNERボタンでラジオを受信するなどしてから操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
電源OFF時に時計表示にならない。	<ul style="list-style-type: none">• パワーセレクトスイッチが③になっている。 → パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください(アクセサリポジションのある車のみ)。• リセットボタンを押したためデモモードに入った(パワーセレクトスイッチが④のときのみ)。 → TUNERボタンなどで電源を入れてください。
共通 ラウドネスの効果がかからない。	<ul style="list-style-type: none">• 大音量になっている。→ 音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時のみかかります。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• 動作電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定(43ページ)を「on」にしてください。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> • すでに別のディスクが入っている。 • ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> • CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が20°を越えている。 • 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 • MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。
ラジオ/テレビ	受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。→ パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。 • IF機能が「Wide」になっている。→ 「Narrow」または「IF Auto」にしてください(26ページ)。
	SEEK/AMSダイヤルを回しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。 → 表示を消してください(25ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。→ SEEK/AMSダイヤルを回し続けて周波数を合わせてください。

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
Error	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG Discs	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO Magazine	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
Push reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書と アフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	94dB
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

MDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.7%(ステレオ) 0.4%(モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、160Hz、400Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	\pm 12dB

アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	45W \times 4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	FMコンボジット出力端子、 サブウーファー音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 ATT入力端子(ナビ用)
本体寸法	約178×100×192mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×100×163mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約2.7kg
付属品	ロータリーコマンダーRM-X4S (1) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売品	ワイヤレスリモートコマンダー RM-X47 CDチェンジャー CDX-805(10枚) CDX-T602(6枚) CDX-T605(6枚) MDチェンジャー MDX-62 FM文字多重放送ディスプレイ ユニット FMX-88 モービルカラーTV XTL-770W 電源コード RC-118P トランク取付キット RC-550MP

アクティブサブウーファー XS-AW3 パワーアンプ XM-C1000 ソースセクター XA-C30 バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m) RC-62(2m) バス延長コード RC-U305(0.5m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m) 電源コード RC-39 CDクリーニングキット CDM-3K

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザは接続できません。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスिंगコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行
イコライザー 36~37
イントロ 16
エラー表示 51
音量 10、11

カ行
カスタムファイル 19~22

サ行
サイマルプレイ 34、35
サブウーファー 39~40
シャッフル 18
スクロール 15、43~44
ステーションメモ 28
ステレオ放送 26
スピーカーバランス 42
スペクトラムアナライザー 41
ソースサウンドメモリー 42

タ行
ディスクサウンドメモリー 38
ディスクメモ 19~20
テレビ 30~35
 チャンネルの一覧 32
 名前をつける 31
 登録 30
登録
 自動登録 24、30
 テレビチャンネル 30、31
 ラジオ局 24、27
道路交通情報 (TI) 11、25
時計 7

ナ行
名前
 消去する 20、28
 つける 19、28
 表示する 20、28

ハ、マ、ヤ行
バランス 42
バンク 21~22
ビデオ 33
ヒューズ 45
表示窓
 CD/MD 15
 ラジオ 25
フェーダー 42
ベストチューニングメモリー
 (BTM) 24
ボタンの音 43~44

ラ、ワ行
ラウドネス 43~44
ラジオ 24~29
 自動選局 25
 登録 24、27
 名前で探す 29
 名前を消去する 28
 名前をつける 28
 名前を表示する 25、28
 放送局の一覧 29、32
リセット 6
リピート 17
リモコン
 ロータリーコマンダー
 12~13、43~44
 ワイヤレスリモートコマン
 ダー(平形) 48

アルファベット順

CD/MD 10、14~23
 ディスク名の一覧 23、32
 名前で探す 23
 名前をつける 19
 名前を消去する 20
 名前を表示する 20
CD TEXT 15
PLAY MODE
 Bank 21~22
 DSM 38
 IF Auto 26
 Intro 16
 Local 25
 Mono 26
 Narrow 26
 Wide 26
SET UP
 A.Scrl 43~44
 Beep 43~44
 Clock 7
 Color 43~44
 Dimmer 43~44
 Loud 43~44
 RM 43~44
Repeat 17
Shuf 18

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様相談センターへ
東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Sony Corporation Printed in Japan



Sony WX-C60MD(J) 3-864-004-02(2)